

教科・領域【 工業 】 科目【 コンピュータシステム技術 】

学科・コース	情報技術科	学 年	第3学年	単位数	2単位
--------	-------	-----	------	-----	-----

1 学習内容と学習到達目標

情報処理システムの分析，設計，構築，運用などのコンピュータシステムに関する知識と技術を習得させ，ネットワークシステム，データベースシステム，マルチメディアシステムにおける分析，設計，構築，運用，保守などに実際に活用する能力と態度を育てること。

2 使用する主な教材等

(1) 使用教科書，副教材等 コンピュータシステム技術（実教出版）
(2) 授業で配布するもの 関連プリント 等

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考査範囲等
一 学 期	第1章 コンピュータシステムの概要 1. コンピュータシステムと情報システム 2. コンピュータシステムに必要な技術 3. コンピュータシステムの構築 章末問題	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステム，情報システムとは何かを理解する ・マルチメディア，ネットワーク，データベースなどの技術について理解する ・在庫管理システムなどのシステム構成とシステムの概要を理解する 		中間考査
	第2章 マルチメディア技術 1. マルチメディア技術の概要 2. マルチメディアのデジタル化技術 3. マルチメディアの活用 章末問題	6	<ul style="list-style-type: none"> ・情報をデジタル化し双方向で伝達することを理解する ・標本化定理について理解する ・マルチメディアの保存方法について理解する 		期末考査
	第3章 1. データ通信の概要 2. 通信技術	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの必要性を理解する ・伝送形態の違いや通信方式の違いについて理解する 		
《課題・提出物等》 ① 各章・節ごとの復習問題（プリント） ② 板書したものを筆記したノート					
《1学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は，中間と期末の定期考査の成績で概ね70%，提出物（復習プリント，ノート）と，授業中の態度（学習意欲や発問に対する受け答え），そして出席状況などで30%の配分で行います。					

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
二期	第3章 1. ネットワークアーキテクチャ 2. ネットワークシステム 3. インターネットとの接続	9	<ul style="list-style-type: none"> 通信ネットワーク構築に必要なプロトコルや考え方について理解する LANの形態について理解する インターネットへ接続する方式の種類と特徴について理解する 		中間考查
	4. ネットワークシステムの施行・運用・保守 章末問題	10			
	第4章 データベース技術 1. データベースの概念と構成	11	<ul style="list-style-type: none"> データとファイルの構造や種類などファイル処理の概要を理解する 関係データベースの表の構成について理解する 		期末考查
	2. 関係データベースの設計 3. 関係データベースとSQL 章末問題	12	<ul style="list-style-type: none"> 関係データベースの基本的な操作方法について理解する SQLを用いて基本的なデータベースの操作ができるようになる 		
《課題・提出物等》 ① 各章・節ごとの復習問題（プリント） ② 板書したものを筆記したノート					
《2学期の学習状況の評価方法》 1学期同様					
三期	第5章 コンピュータシステムの開発と評価 1. システム開発の基礎	1	<ul style="list-style-type: none"> システム開発の手法と基本的な手順について理解する ウォーターフォールモデルに基づいたシステム開発について作業内容と開発手法について理解する 外部設計, 内部設計の段階におけるコード設計, ファイル設計, ハードウェア設計について理解する 		学年末考查
	2. システム開発	2			
	3. システム開発の運用と評価 章末問題	3			
	《課題・提出物等》 ① 各章・節ごとの復習問題（プリント） ② 板書したものを筆記したノート				
《3学期の学習状況の評価方法》 1学期同様					
《年間の学習状況の評価方法》 ① 1～3学期の成績を総合して, 年間の学習成績とします。 ② また, 学習状況は, 「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技術・表現」「知識・理解」の4つの観点で評価します。					